

(地 571)

令和 3 年 3 月 2 4 日

都道府県医師会

担 当 理 事 殿

日本医師会常任理事

長 島 公 之



NBCR対策推進機構 第8回「消防職員等や医療従事者のための爆発物災害対策講習会」
の開催について（再依頼）

さて先般、令和3年1月27日付け（地 493）の文書をもって、貴会にNBCR対策推進機構による第8回「消防職員等や医療従事者のための爆発物災害対策講習会」の開催についてご案内をお送り申し上げたところですが、同機構より再度、周知方依頼がありました。

つきましては、貴会におかれましても、本件についてご了知いただくとともに、貴会災害医療担当者等への周知方につきご高配賜りますようお願い申し上げます。

記

NBCR対策推進機構

第8回「消防職員等や医療従事者のための爆発物災害対策講習会」

開催日：令和3年4月18日（日） 9：00～17：00

締切日：令和3年4月 1日（木）

定員 会場：10名 オンライン：100名

費 用：NBCR対策推進機構の個人正会員：1.5万円

NBCR対策推進機構の団体会員：1万円

非会員：2万円

場 所：エピオス セミナー・ルーム

東京都江東区富岡1-26-1 飯田ビル5F

第8回「消防職員等や医療従事者のための爆発物災害対策講習会」(案)

ー止血帯(タニケット)の使用法を含むー

(救命救急医、産業医、消防職員等が知っておくべきこと)

ー1級認定コース・日医生涯教育制度5.5単位認定ー

後援：公益社団法人 日本医師会、全国消防長会

開講(オンライン方式及び会場参加)のご案内

皆様、ご承知の様に、現在、世界の彼方此方で、年間1万～1万5千件のテロが発生しております。これらのテロの殆どは、爆弾テロを主体とするテロで、発生回数、手段、標的において従来と全く変わった脅威が生じております。これらの動向は、本年(2021年：令和3年)の東京オリンピック開催を目前に控える我が国の大きな懸念事項となっており、爆発物災害対策、とりわけ、爆発物テロ対策の重要性が改めて認識されております。

日本で、もしテロが起こるとすれば、爆発物事案の生起の可能性が大であるとみられており、イベント等の多いわが国では、初動対処に当たる消防職員等や医療災害対策担当者から爆発物テロ・災害対策講習会の実施の要請が高まっております。このため、弊機構では、別紙の通り「消防職員等や医療従事者のための爆発物災害対策講習会」(救命救急医、産業医、消防職員等が知っておくべきこと)を開講することといたしました。

今回の講習会も、現在日本の爆発物対処の第1人者として活躍中の先生方を講師に迎え、テロや爆発物災害対処に真に役立つ第1級の危機管理コース(爆発物テロ対策責任者1級認定)といたしました。特に、今回も、止血帯(タニケット)を使用した止血方法等の講習も含め、爆発物対策担当者等の技術向上に役立てたいと念じております。なお、今回の講習会でも、医療従事者に対しては、日本医師会・東京都医師会の認可を得て、日本医師会生涯教育制度の認定をしていただき、単位の認定を行います。ご多忙中の折柄誠に恐縮に存じますが、奮ってご参加下さいますようご案内申し上げます。

令和3年3月吉日

NPO法人 NBCR対策推進機構
会 長 片 山 虎之助
理 事 長 井 上 忠 雄

第 8 回「消防職員等や医療従事者のための爆発物災害対策講習会」(案)

ー止血帯(タニケット)の使用法を含むー

ー主として救命救急医、産業医、消防職員等が知っておくべきことー

1 級認定コース・日医生涯教育制度 5.5 単位認定

主催 NPO 法人 NBCR 対策推進機構

後援 公益社団法人 日本医師会、全国消防長会

■ 趣 旨

本年(令和 3 年)7~8 月の東京オリンピック・パラリンピックの開催が迫って参りました。かつてのボストンマラソン爆破事件・過去のオリンピック時に生じたテロ事件或いは最近、世界各地で頻発するテロ事件では殆どが高性能爆薬を使用した爆弾テロや化学物質等を混入した高性能爆薬が使用されております。東京オリンピックや全国で行われる各種イベントを成功させるためには官民挙げて爆発物等によるテロに各種の対策を講じて安全・安心を確保する必要があります。日本では、三菱重工工業爆破事件等で経験したように、爆発物によるテロ等に特に注意が必要です。これらの対策では、裂傷を始めとする多くの被害者は現場での救急措置は勿論のこと、中でも特に医学的対応が重視されます。このためには、平素から爆発物テロや関連情報を収集・評価し、物的・人的措置を講じ、教育・訓練を行い、標的化を防止して適切な対応力を養成しておくことが重要です。最新の世界の情報・経験を踏まえて爆発物テロやCBRNテロを含む爆発物災害対策等を見直し各種の厳しい現実を想定した訓練・講習を実施する必要があります。

今回も、現在日本の第 1 人者としてご活躍中の先生方を講師に迎え、止血帯の使用方法等も加え、「消防職員等や医療従事者のための爆発物災害対策講習会」を下記の通りオンライン方式を主体に開催いたします。お忙しい折柄、恐縮に存じますが、ご参加をお待ち申し上げます。

■ 講習対象者

救命救急医師、産業医、病院等医療危機管理者、消防職員等、その他講習研修を更新の希望者等

■ 認定カード発行

講習修了時認定試験を行い「CBRNE テロ対策責任者 爆発物1級認定証」を発行し当機構での認証を行います。また、日本医師会生涯教育制度 5.5 単位の認定を行います。

■ 講習開催日

日 時	受付締切	定 員
令和 3 年 4 月 18 日(日)09:00~17:00	4 月 1 日(木)	会場受講:10 名 オンライン受講:100 名

■ 細 部

- 爆発物災害対策講習会カリキュラム (案)

付紙 1

- 場 所:(株)エピオス セミナールーム

〒135-0047 東京都江東区富岡 1-26-15 飯田ビル 5F 案内図

付紙 2

・ 申 込: オンライン受講の場合は E メールにて、弊機構事務局宛<info@nbc-taisaku.com>にお申込みください。申込方法は、E メールタイトル「4 月爆発物対策講習会申込」、メール本文に、①オンライン受講か会場受講のどちらか一方を明記。②受講者氏名(ふりがな)、③所属、④請求書あて名、⑤講義資料郵送先となる郵便番号・住所(建物名、所属、受取人の宛名)、⑥電話番号、⑦E メールアドレス、⑧弊機構の会員有無をご記載ください。会場受講の場合は、E メール・FAX (FAX 申込書 付紙 2) どちらからでも申込可能ですが、できるだけ E メールからの申込をお願いします。オンラインと会場で金額の差はありません。先着定員になり次第申込を締め切り。オンライン受講者・会場受講者の合計が 30 名以下の場合は延期し順延の通知。

ー定員に達し、申込を締め切った際は、弊機構ホームページに掲載します。ー

- 費 用: 2 万円(機構個人正会員: 1. 5 万円、 団体会員: 1 万円) 金額に差はなし。
- 連絡先: NBCR 対策推進機構: 〒111-0053 東京都台東区浅草橋 2-7-9 大森ビル 2 階
電話: 03-5829-6187 FAX: 03-5829-6197 e-mail: info@nbc-taisaku.com

■ 爆発物災害対策講習会カリキュラム (案)

月 日	時 間	科 目	講 師
令和 3年 4月 18日 (日)	09:00～09:10	オリエンテーション	NBCR 対策推進機構理事長 工学博士 井 上 忠 雄
	09:10～10:00	1 災害と医療対策 ー爆発物対策の重要性ー	(公社) 日本医師会 常任理事 長 島 公 之 先生
	10:00～11:00	2 爆発物の基礎知識	防衛大学校 応用化学科 火薬学 教授 甲 賀 誠 先生
	11:00～12:00	3 爆発物テロの動向と日本生起の可能性	(公財) 総合安全工学研究所 事業部長 (元科学警察研究所部長) 中 村 順 先生
	12:00～12:50	休 憩 (昼 食)	
	12:50～13:50	4 爆発物の威力と対策	(国法) 産業技術総合研究所 安全科学研究部門 上級主任研究員 松 永 猛 裕 先生
	13:50～14:50	5 爆発物テロ・爆発物災害と初動対応 ー消防の立場からー	(有) 報恩会社長 (元東京消防庁防災部長) NBCR 対策推進機構 副理事長・理事長代行 伊 藤 克 巳 先生
	14:50～14:55	休 憩	
	14:55～15:50	6、爆発物に対応する新たな医療措置 ー爆発物による生体損傷のメカニズムー	東京医科大学 准教授 八王子医療センター 救命救急センター長 新 井 隆 男 先生
	15:50～16:30	7 爆発物災害と医療対策 ー止血帯の使用法を含むー	東京都災害医療コーディネーター 杏林大学医学部主任教授 高度救命救急センター長 山 口 芳 裕 先生
	16:30～16:35	休 憩	
	16:35～16:55	8 試 験	
	16:55～17:00	修了証 ならびに 認定証 授与	

※ 講師の先生は、止むを得ない事情により、変更となる場合がありますのでご承知おきください。

第8回「爆発物災害対策講習会」会場受講専用申込書
 (テレワーク対応のため、できるだけEメールからお申込ください)

申 込 締 切	令和3年4月1日(木) 先着順:会場10名、オンライン:100名		
申 込 F A X	03-5829-6197		
(ふりがな) 参加者氏名	氏 名	所 属	職 名
	()		
住 所	〒 自宅 職場 : いずれかを○でお囲み下さい。		
連 絡 先	電話番号(必須) : e-mail(必須) :		
該当する箇所を○でお囲み下さい	◆NBCR対策推進機構: 弊機構の個人正会員 ・ 弊機構の団体会員		
請求書の宛名 ○でお囲み下さい	本人 ・ 別 名 ()		

●講習会場案内図

●場 所 : (株)エピオス セミナールーム

〒135-0047 東京都江東区富岡 1-26-15 飯田ビル5F

地下鉄東西線、大江戸線「門前仲町駅」2番又は5番出口から徒歩約8分。

トヨタレンタカー隣り駐車場はありません



◆受付担当: NBCR 対策推進機構

TEL: 03-5829-6187

Eメール: info@nbc-r-taisaku.com

担当: 阿部剛士